

START プログラム募集要項（平成 28 年度前期）

- 第 33 回 ～インドネシアの多様な文化と社会変動～
- 第 34 回 ～台湾の多元的社会と日台関係をめぐる知的探検～
- 第 35 回 ～オーストラリアの多文化社会～
- 第 36 回 ～アメリカの大学，社会と文化～

1. START プログラムとは

START（スタート）プログラムの目的は、海外経験の少ない新生を対象に、海外の大学やその周辺都市を訪問し、日本と異なる文化・環境を体験する機会を提供し、国際交流や長期留学への関心を高めるきっかけをつくることです。また、START プログラムでは、参加費用の一部を広島大学基金及び広島大学等から補助することで学生の経済的負担を大幅に軽減し、より多くの学生が留学に挑戦する可能性を広げることを目指しています。

2. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」（2 単位）

START プログラムは教養教育科目「海外フィールドスタディ」として実施しています。参加が決まった学生は、自動的に上記科目に履修登録され、成績評価を受けて、単位を修得できます。このプログラムは、広島大学の学生をグローバル人材として育成することを目指しており、以下のグローバル・コア・コンピテンシー（世界で通用する人材として必要となる能力）を向上します。

START プログラムで育成するグローバル・コア・コンピテンシー

- (1) コミュニケーション能力（国際的対話能力）
- (2) 自己管理能力
- (3) 成果を出す能力
- (4) 連携とネットワーク
- (5) 個性と文化の尊重

グローバル・コア・コンピテンシーは渡航前・渡航中・帰国後の 3 回にわたって自己評価を行い、行動計画を立てます。そして、担当教員のフィードバックをもとに行動計画を練り直し、実行に移します。成績評価では、参加態度・海外研修時の発表・帰国後のレポート等に基づき、総合的にグローバル・コア・コンピテンシーの向上を評価します。

「海外フィールドスタディ」については、My もみじに掲載されているシラバスもご参照ください。

3. 第 33～36 回 START プログラム共通項目

- a) プログラム内容： 広島大学の海外協定大学で 2 週間、現地大学教員による講義やワークショップ、現地公用語の語学授業、現地学生との交流・ディスカッション、大学周辺及び周辺都市でのエクスカージョンなどを行います。また、きめ細やかな事前研修・事後研修を通じて現地での体験をより効果的に吸収し、ふりかえり、内在化するプロセスをサポートします。
- b) 対象学生： 学部 1 年生 * 応募資格については 2 ページに別途記載
- c) 募集人数： 第 33 回（インドネシア）は 24 人
第 34 回（台湾）、第 35 回（オーストラリア）及び第 36 回（アメリカ）は各 30 人
- d) 最少催行人数： 第 33 回（インドネシア）は 12 人、
第 34 回（台湾）、第 35 回（オーストラリア）及び第 36 回（アメリカ）は各 15 人
- e) 学生負担費用： プログラム参加費（第 34 回（台湾）は一人 7 万円、第 33 回（インドネシア）は一人 9 万円、第 35 回（オーストラリア）及び第 36 回（アメリカ）は一人 12 万円）、海外旅行保険料（大学指定のもの、約 9 千円）、パスポート申請費（5 年用 11,000 円）、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い（食費含む）など

※ プログラム参加費は、全体費用（航空券、査証（ビザ）申請料、宿泊費、プログラム費、一部の食事代）の一部に充当されます。

※ JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）の支給要件を満たす方には、第 34 回（台湾）では一人 6 万円、第 33 回（インドネシア）及び第 35 回（オーストラリア）では一人 7 万円、第 36 回（アメリカ）では一人 8 万円が奨学金として支給されますが、本奨学金は全体費用の一部に充当させていただくため、奨学金支給後に、その同額を広島大学へお振り込みいただくことをご了承願います。

f) その他：本プログラムは、事前学習・事後学習を含むすべての行事に参加することが参加の条件です。また、研修終了後にレポートの提出及びプログラム評価への協力が義務付けられています。

4. 第 33～36 回 START プログラムの概要及び研修先の紹介

10 ページ「平成 28 年度前期実施 START プログラム一覧」をご参照ください。

5. 応募資格（選考基準）

- 広島大学に正規生として在籍する学部 1 年生（所属学部は問わない）
- 国際交流や留学に高い関心を持っており、参加目的が明確で且つ向上心に富んでいること
- 事前学習・現地研修・事後学習のすべてに参加し、真剣に取り組むことができること
- プログラム終了後、事業評価や広報活動に全面的に協力できること
- 13 歳以後から広島大学入学前までの間に、31 日以上連続した海外渡航・在住経験がないこと
※13 歳未満及び広島大学入学後の海外渡航・在住経験は不問とする。ただし、申請時には過去すべての海外渡航歴を記入すること。
- 過去に START プログラムへの参加経験がないこと
- 英語力を審査項目の一つとする。

6. 選考方法

応募者数の多少に関わらず、書類審査及び面接による選考を行う。

7. 募集から研修終了までの予定

* このプログラムの参加学生は、下記の行事すべてに参加できることが条件です。

* 下記の予定はやむを得ない状況などにより、予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。

* 募集説明会及び応募書類受付は、東広島・霞いずれの会場でも、学部問わず参加可能です。

2016 年 4 月 22 日(金)	募集要項公開
5 月 9 日(月)12:10-12:40	【東広島会場】 募集説明会開催（総合科学部 L102 教室）
5 月 11 日(水)18:10-18:40	※2 回とも同じ内容ですのでいずれかにご参加ください。
5 月 11 日(水)12:10-12:40	【霞会場】 募集説明会開催（医学部第 4 講義室）
4 月 28 日(木)12:00～ 5 月 15 日(日)23:59	重要 オンラインフォーム入力受付期間(時間厳守) ☞ 入力完了時刻が 5 月 15 日(日)23:59 を過ぎないように、あらかじめ申請に必要なデータを用意し、時間に余裕をもって入力してください。 ☞ 受付期間終了後及び事務室開室時間外の問い合わせには応じかねますので、オンライン申請に関する質問等は、5 月 13 日(金)17:15 までにお知らせください。
5 月 17 日(火)12:00-17:00	【東広島会場】応募書類受付期間(時間厳守)
5 月 18 日(水)10:00-17:00	☞ オンラインフォームで作成した申請書及び必要書類を学生プラザ 3F 国際交流グループ
5 月 19 日(木)10:00-15:00	(特設受付)へ提出
5 月 18 日(水)12:00-17:15	【霞会場】応募書類受付期間(時間厳守)
	☞ オンラインフォームで作成した申請書及び必要書類を霞国際室(霞学生支援室内)へ提出

6月10日(金)17:00まで	書類審査結果発表 (My もみじ個人掲示)
6月14日(火), 17日(金)	面接審査(東広島キャンパスで実施予定) (☞詳細は p.7)
6月20日(月)17:00まで	面接審査結果発表 (My もみじ個人掲示)
6月21日(火)18:20-20:10	海外渡航リスク管理セミナー (法・経済学部 257 教室, 霞地区は医学部第5講義室)
6月24日(金)18:10-20:30 (17:40 受付開始)	初回合同オリエンテーション【全員】(総合科学部 L102(仮)) * 今後の手続き説明など
6月27日(月)~7月2日(土)	A型肝炎予防接種 1回目【インドネシア】(指定病院)
6月28日(火)18:00-20:30	事前講義【インドネシア】(国際協力研究科1F 大会議室) ※講義前後に顔合わせ, 勉強会日程調整
6月28日(火)18:00-20:00	国別オリエンテーション【台湾】(法・経済学部 157 講義室) ※顔合わせ, 勉強会日程調整等
6月28日(火)18:00-20:30	事前講義①【オーストラリア】(総合科学部 J204)※講義前後に顔合わせ, 勉強会日程調整等
6月28日(火)18:10-20:40	事前講義【アメリカ】(学生プラザ4F多目的室) ※講義前後に顔合わせ, 勉強会日程調整等
7月5日(火)17:15	パスポート提出 メ 切【インドネシア, アメリカ】
7月5日(火)18:10-20:10	事前講義①・パスポート提出 メ 切【台湾】(法・経済学部 157 講義室)
7月8日(金)18:00-20:30	事前講義②・パスポート提出 メ 切【オーストラリア】(法・経済学部 251 講義室)
7月12日(火)18:10-20:10	事前講義②【台湾】(法・経済学部 157 講義室)
7月22日(金)18:00-19:30	グループ発表【インドネシア】(学生プラザ4F多目的室)
7月22日(金)18:10-20:40	グループ発表【アメリカ】(教室未定)
7月25日(月)~30日(土)	A型肝炎予防接種 2回目【インドネシア】(指定病院)
7月26日(火)18:10-20:30	事前講義③・グループ発表・滞在オリエンテーション【台湾】(法・経済学部 157 講義室)
7月26日(火)18:00-20:30	グループ発表【オーストラリア】(学生プラザ4F多目的室)
7月29日(金)18:10-19:40	渡航前合同オリエンテーション【全員】(法・経済学部 159 講義室)
8月13日(土)~8月28日(日)	渡航期間(国内空港集合・解散)【インドネシア】
8月21日(日)~9月5日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【台湾】
9月2日(金)~9月19日(月)	渡航期間(国内空港集合・解散)【オーストラリア】
9月10日(土)~9月25日(日)	渡航期間(国内空港集合・解散)【アメリカ】
9月28日(水)13:00-16:00	事後研修・修了証授与【オーストラリア】(学生プラザ4F 多目的室)
9月30日(金)9:00-12:00	事後研修・修了証授与【インドネシア】(国際協力研究科1F 小会議室)
9月30日(金)9:00-12:00	事後研修・修了証授与【アメリカ】(学生プラザ4F多目的室)
10月7日(金)18:10-19:40	事後研修・修了証授与【台湾】(法学部・経済学部 152 講義室)
2017年 4月28日(金)17:00まで	現地研修終了後に学内外で受験した TOEIC テストのスコアを証明する書類の写しの提出期限(受験料自己負担)

8. 応募方法

応募は、次ページの手順で① オンライン申請と② 応募書類提出の両方を行うことにより完了します。オンライン申請をしても応募書類を期限までに提出しなければ、応募完了とはみなしません。

なお、今回は、第 33~36 回(インドネシア, 台湾, オーストラリア, アメリカ)の参加者の募集・選考を同時に行います。派遣先は第 2 希望まで申し込み可能です。志望理由(1000 文字以内)には、第 1 希望・第 2 希望の志望理由がそれぞれ分かるように記載してください。ただし、英語圏の国(オーストラリア, アメリカ)同士の併願はできません。非英語圏の国(インドネシア, 台湾)は、英語圏の国または非英語圏の国との併願も可能です。

① オンライン申請

受付期間： 2016年4月28日（木） 12:00 ～ 5月15日（日） 23:59

- ※ オンラインフォームは上記の期間中、下記のページにてリンクを公開します。
もみじ Top>学びのサポート>留学>START プログラム
URL : <https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/start.html>
- ※ 必ず事前に本募集要項 5 ページ「参加申込書入力時の注意事項」及び 6 ページ「入力項目一覧」を確認し、あらかじめ入力に必要な情報を準備しておいてください。
- ※ システムの都合等でオンライン申請が完了できない場合は時間を空けて再度入力してください。もしデータが入力できていなかった場合、オンライン申請期間中の平日 8:30～17:15 の間に、国際交流グループ担当者へ連絡してください。オンライン申請期間後の入力や問い合わせは原則として受け付けられないため、時間に余裕をもって入力してください。

② 応募書類提出

受付場所・期間：

【東広島会場】 学生プラザ 3F 国際交流グループ特設受付	2016年5月17日（火） 12:00-17:00 5月18日（水） 10:00-17:00 5月19日（木） 10:00-15:00
【霞会場】 霞国際室窓口（霞学生支援室内）	2016年5月18日（水） 12:00-17:15

提出方法： 次ページ 1~4 の書類を揃えて、上記受付期間内に応募者本人が提出しに来てください。
期間外の提出は一切受け付けません。必要書類が揃っていない場合も受け付けません。

提出書類

1. **【全員】 第 33-36 回 START プログラム申込書**
(オンライン申請完了後、PDF (2 ページ) をダウンロードし A4 用紙に片面印刷 ▶ 1 ページ目の右上にボールペンで署名と提出日を記入して提出)
2. **【該当者のみ】 英語能力を証明する書類のコピー**
(英検合格証, TOEIC, TOEFL や IELTS のスコアレポートなどのコピー)
 - ※ 学内で実施された今年度第 1 回の TOEIC (IP) (5/14 (土) の本試験) を受験した学生は証明書類の提出は不要です。5/28 (土) の学内 TOEIC 追試験の結果は間に合いませんのでご注意ください。
 - ※ 上記以外に各自で受験したスコアを使用したい場合のみ、スコアレポートのコピー (A4 用紙) を提出してください。ただし、広島大学で今年度第 1 回の TOEIC (IP) を受験した学生は、広島大学入学前のスコアは使用できません。
3. **【該当者のみ】 これまでに取得したパスポート (本体) の提示 (すでに失効しているものも含む)**
 - ※ パスポートを取得したことのない学生は不要です
 - ※ 海外渡航歴確認のため、コピーではなく「原本」が必要です。
4. **【全員】 学生証の提示 (本人確認のため)**

参加申込書入力上の注意

- a) 入力には必ずパソコンを使用してください。スマートフォン、タブレット端末は使用できません。
- b) オンライン入力を始める前に、この募集要項末尾に掲載している入力項目リストを確認し、志望理由書やパスポートの情報など、入力に必要な情報をすべて準備してください。途中でやめた場合、入力内容は保存されません。特に、志望理由書はスペースを含め 1000 文字までしか入力できませんので、あらかじめ Microsoft Word 等を使用して下書きを作成し、文字数を確認しておいてください。
- c) 確認画面で「同意して申込み」ボタンを押した後、入力フォームに戻ることは出来ません。よく確認して送信してください。必須項目に記入漏れがある場合は「同意して申込み」ボタンが表示されません。
- d) 一度入力・送信した後に、再度入力・送信を行うと、複数のデータが登録されます。その場合は、窓口での提出の際に、複数回送信した旨と、何月何日の何時に入力したものを申請に使用するのかを申告してください。
- e) 確認画面のあとに、PDF をダウンロードして終了する画面が出てきます。**ダウンロード**と**終了**の2つのボタンがありますが、必ず**ダウンロード**ボタンをクリックしてください。ダウンロードした PDF は必ず自分のパソコンに保存してください。万が一 PDF を保存せずに**終了**してしまった場合や、入力エラーは、再度入力はせず、オンライン申請受付期間内に、速やかに窓口にご相談に来てください。
- f) 国籍を複数有している場合は全てを記載してください。
- g) 海外渡航経験がある場合は、過去全ての渡航経験について期間・国名・目的を記入してください。
- h) 電話番号とメールアドレスは、必ず連絡のつくもの、毎日確認するものを記入してください。日常的に使用している PC メールが無い場合は、広大メールアドレスを記入し、今後これを確認するようにしてください。
- i) 保護者または保証人の E-mail アドレスは使用しているものがある場合のみ記入してください。
- j) 渡航中の連絡先は、主に渡航中の緊急時に使用するものですので、必ず連絡のつく電話番号を記入してください。
- k) 健康面などで特別なサポートが必要な場合は、健康状態の欄に出来るだけ具体的に記入してください。
- l) 申込み・参加にあたり懸念事項がある場合には、特記事項欄に記入してください。
- m) オンラインフォームを入力しても、窓口への提出をするまで申込みは完了しませんのでご注意ください。
- n) 入力した項目に事実と異なる記載があれば、いかなる理由においても失格とみなします。万が一、参加決定後にこのような事態が発覚した場合には、その時点で参加資格を失いますので、よく注意してください。特に過去の渡航歴等においては、各自でよく確認しておいてください。

オンライン申込みフォーム 入力項目一覧

1. 申請するプログラム (第1希望, 第2希望)
 2. カナ氏名
 3. 漢字氏名
 4. ローマ字氏名
 5. 学部・学科
 6. 学生番号
 7. 生年月日
 8. 性別
 9. 国籍
- 2~8 の項目は、学籍番号に基づいて自動的に入力されるので確認してください。また、「ローマ字氏名」が学籍で登録されている綴りとパスポートの綴りと異なる場合は、パスポートの綴りに合わせて入力し直してください。
10. 海外渡航経験の有無 ※有りの場合は出来るだけ詳しく書いてください。(国・期間・目的など)
例：「1999年5月1-3日(3日間) 家族旅行・マレーシア」
 11. 英語能力
○5/14に大学で受験した TOEIC IP テスト(第1回)の成績を使用することに同意します。
○5/14に大学で行われた TOEIC IP テスト(第1回)以外のスコアを使用したいため、語学能力を証明する別の資料を提出します。
* 語学能力を証明する資料の詳細
例：「TOEIC 公式テスト 2015年8月10日受験 530点」, 「英検2級 2015年9月合格」
○5/14の TOEIC IP テストを受験しておらず、語学能力を証明する別の資料もありません。
 12. パスポートの有無(すでに失効したものも含む)
※有効なものがある場合は、有効期限とパスポート番号を記入；失効したものがある場合は失効日を記入
 13. 健康状態 ○良好 ○配慮が必要 ○アレルギーなど
 14. 現住所
 15. 電話番号(携帯)
 16. メールアドレス(携帯)
 17. メールアドレス(パソコン)
 18. 保護者または保証人氏名, 続柄
 19. 保護者または保証人住所
 20. 保護者または保証人電話番号
 21. 保護者または保証人メールアドレス
 22. 渡航中の緊急連絡先電話番号
 23. その他, 特記事項
 24. 面接予定日の授業の有無 ※授業以外の事由による面接日時の調整はできません
 25. アンケート：START プログラムを何で知りましたか？
 26. 志望理由書(このプログラムに参加して学びたいこと, 経験したいことは何ですか？また, その学びや経験を, 今後どのように生かしていきたいですか？第1希望・第2希望の志望理由がそれぞれ分かるように記載してください。
(1000文字以内：スペースを含む))
 27. START プログラム申込みにあたっての注意事項同意確認
「上記, 記載事項はすべて事実と相違ありません。事実と異なる記載をしたことが判明した場合, 参加資格を失うことを了解しています。また, 第33-36回 START プログラム募集要項をよく読み, プログラム内容及び注意事項をすべて理解し, 同意しています。」

※ 入力した内容を再度確認してから、「同意して申込み」ボタンを押してください。

※ この申込書に入力していただく個人情報は、START プログラムの運営のために利用するものであり、この目的以外で利用したり第三者へ提供したりすることはありません。

11. 選考方法と結果の発表

- a) 書類審査の結果は2016年6月10日(金)17:00までに「Myもみじ個人掲示」にてご連絡しますので、各自で確認してください。少しでも掲示が遅れる可能性がある場合には、応募者全員「Myもみじ個人掲示」にて事前にご連絡しますが、万が一、上記期日までに掲示が表示されない場合は、国際交流グループ担当者にご連絡ください。
- b) 書類審査通過者は、東広島キャンパス(会場未定)で面接を行いますので、必ず指定された日時の面接に出席してください。各自の面接時間は、書類審査の結果と一緒にご連絡します。いかなる理由でも、この面接に出席できない方は、参加することができませんのでご注意ください。

待機場所：書類審査結果通知で確認のこと

日 時：2016年 6月14日(火)16:20~20:30(アメリカ候補者)

6月14日(火)16:20~20:30(オーストラリア候補者)

6月17日(金)16:20~20:30(台湾候補者)

6月17日(金)16:20~19:30(インドネシア候補者)

} 1人5分程度

面接の結果は2016年6月20日(月)17:00までに「Myもみじ個人掲示」にてご連絡します。少しでも掲示が遅れる可能性がある場合には、応募者全員「Myもみじ個人掲示」にて事前にご連絡しますが、万が一、上記期日までに掲示が表示されない場合は、国際交流グループ担当者にご連絡ください。

- c) 選考に合格した方は、必要書類の提出と参加費用の振り込みをもって正式に参加者として決定します。手続きの詳細は、6月24日(金)の初回合同オリエンテーションでご案内します。
- d) 応募者多数の場合、各プログラムにつき5名まで次点候補者(キャンセル待ち)を選出します。
- e) 書類・面接とも審査結果についての問合せ・苦情は一切受け付けませんので予めご了承ください。

12. その他注意事項

- a) 必ず保護者または保証人の方の同意を得てから申し込んでください。参加内定後に参加学生および保護者/保証人より同意・誓約書を提出していただきます。
- b) 第33回インドネシア及び第36回アメリカ参加内定者は2016年7月5日(火)17:15まで、第34回台湾参加内定者は2016年7月5日(火)事前講義時まで、第35回オーストラリア参加内定者は7月8日(金)事前講義時まで、有効なパスポートのコピーが提出できない場合、参加できません。有効なパスポートをお持ちでない方は、すぐに申請・更新手続きをしてください。どうしても参加が決定するまでは申請するのが難しい場合でも、あらかじめ申請に必要な書類を準備しておいてください。パスポートの申請には、住民票、戸籍抄本など役所から取り寄せなければならない書類や、未成年の場合は申請書に保護者の署名が必要で、実家が遠方の方は必要書類をそろえるのに時間がかかります。また、通常は申請から受領までに8営業日(土日祝・年末年始を除く)かかり、必ず申請者本人が申請した役所の窓口に取りに行く必要があります。詳しくは下記ホームページを参照してください。

【外務省】http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html

【東広島市】<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/soshiki/16/passport-uketori.html>

また、外国籍の学生については、渡航に際しビザ(査証)等の取得が必要な場合、各自で責任をもって申請方法を調べ、渡航に間に合うよう速やかに申請手続きをしてください。ビザ(査証)等の取得にかかる費用は参加学生の自己負担となります。

パスポートやビザ(査証)等取得の遅れにより参加できなくなった場合、広島大学は責任を負いません。

- c) 参加者には全てのオリエンテーションと事前講義、リスク管理セミナー、事後研修への出席が義務付けられていますので、2~3ページの予定表に書かれている日程を必ず空けておいてください。自己都合(アルバイトやサークル活動なども含む)によりオリエンテーション、事前講義、リスク管理セミナーに欠席した方は参加を取り消す場合があります。また、STARTプログラム参加決定学生には、参加決定後に各自でTOEICテストの目標スコアを設定していただいた上で、現地研修終了後に学内外で受験したTOEICテストのスコアを証明する書類の写しを2017年4月28日(金)までに提出していただきます。

- d) 申請書の記載事項に変更があった場合には速やかに担当者に連絡してください。
- e) 自然災害、国際情勢や航空会社、研修先などの事情により急な中止ならびに変更が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
- f) 参加者には緊急対策として全員、現地で使える携帯電話を各自で準備していただきます。
- g) 第33回インドネシアに参加される方は、参加が決まったら、大学の指定する病院で指定された期間に2回、A型肝炎の予防接種を受けてください。この予防接種費用は、大学が負担します。

13. Q&A

Q. 教養教育科目「海外フィールドスタディ」の授業登録をせずに、STARTプログラムに参加することはできますか？

A. いいえ、できません。参加が決まった学生は国際交流グループにて登録手続きを行います（もみじでの登録はできません）。

Q. 前期STARTプログラムに参加しましたが後期にも応募できますか？

A. いいえ、STARTプログラムは一人一回しか参加できません。なお、前期に申請して参加できなかった方は、後期に再応募することは可能です。前期STARTプログラムの審査結果が後期の審査に影響することはありません。

Q. STARTプログラムへの参加にあたり、英語力はどのくらい必要ですか？

A. どのプログラムでも英語または現地公用語で教授される講義や研修がありますし、現地の人々と英語または現地公用語で交流する機会が多くありますので、ある程度の英語力及び英語や現地公用語でコミュニケーションを取ろうとする意欲や積極性が求められます。なお、過去のSTARTプログラム参加者の報告書にも、必要な英語力や、語学学習に関するアドバイスが掲載されています。報告書のファイルは、学生プラザ3Fロビーの留学情報コーナーに派遣大学別に設置していますので、参考にしてください。

Q. 申込書に記入する海外渡航経験に、海外旅行は含まれますか？

A. はい。個人旅行や修学旅行、留学、家族との移住など、海外に渡航した経歴はすべて記入してください。広島大学のプログラムの場合、プログラム名も記載してください。

Q. 外国籍の学生でも申し込めますか？

A. はい、申し込めます。国籍は問いません。渡航に際しビザ（査証）等の取得が必要な場合、各自で責任を持って申請方法を調べ、渡航に間に合うよう速やかに申請手続きをしてください。ビザ（査証）等の取得にかかる費用は参加学生の自己負担となります。ビザ（査証）等取得の遅れにより参加できなくなった場合、広島大学は責任を負いません。

Q. 参加が決めた後、途中で自己都合により参加を取り消した場合、キャンセル料が発生しますか？

A. 原則、パスポート提出期限日以降にキャンセルした場合、返金されません。

Q. 次点候補者（キャンセル待ち）の場合、いつまでに参加できるかどうか分かりますか？

A. キャンセルが出た場合は、各コースのパスポート提出〆切日までにご連絡します。その時点でパスポートを所持していない場合は、権利が次の方に移りますのでご注意ください。

Q. このプログラムに参加すると、交換留学やHUSAのショートプログラム、その他の留学プログラムへの応募の際、影響がありますか？

A. 国際交流グループが担当する留学プログラムについては、原則として、STARTプログラムへの参加が他の留学プログラムへの妨げになることはありませんが、給付奨学金やプログラム費等の経済支援を伴う短期（1ヶ月未満）

のプログラムの場合は、優先順位が下がる可能性があります。各学部等が実施するプログラムについては、それぞれの担当窓口にお問い合わせください。

Q. お小遣いはいくら持っていけばいいですか？

A. 個人差もありますしレートや渡航先にもよりますが、目安としては3~5万円程度あれば十分でしょう。滞在中の食事代もお小遣いの中から支払うことになるので、その費用とお土産代と考えてください。

Q. 第33回インドネシアに参加するための予防接種は指定病院で受けなければいけませんか？かかりつけの病院で受けてもいいですか？

A. 指定以外の病院で受けても構いませんが、その場合は費用が自己負担になり、別途、証明書を提出していただく必要があります。

その他、東南アジアへの渡航に際してはB型肝炎、破傷風、狂犬病、日本脳炎の予防接種が推奨されています（厚生労働省）。心配な方は、任意・自己負担にて予防接種を受けてください。

Q. 現地研修終了後に受験するTOEICテストの受験料は自己負担ですか？

A. 現地研修終了後に受験するTOEICテストの受験料は参加学生の自己負担となります。また、授業の一環としてこれらの試験を受験する場合はそのスコアを使用できます。TOEICテストの種類は、公開テストでもIPテストでも対象となります。

<問合せ先>

広島大学国際室国際部 国際交流グループ（学生プラザ3F） 担当：佐々木・吉永
TEL:082-424-4551 または 4346 FAX:082-424-4545 E-mail: start@hiroshima-u.ac.jp

※対応時間は、平日（土日祝除く）の8:30~17:15です。

※申請に関する質問は、募集説明会の際か、上記問い合わせ先にご連絡ください。

※お問い合わせの際は、学年・氏名・ご用件（第何回のSTARTプログラムに関する事か）を明記/明言してください（Eメールには必ず件名・署名を付けてください）。

平成28年度前期実施 STARTプログラム一覧

※平成28年4月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学	渡航期間/定員/ 参加費(*注)	主な研修内容(予定)	引用	宿泊場所	研修先大学の紹介	研修先地域、都市の紹介
第33回 インドネシアの多様な文化と社会変動 ブラウイジャヤヤヤ大学 (インドネシア)	8月13日(土) ～8月28日(日) (15泊16日) 定員: 24人 参加費: 9万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆ブラウイジャヤヤヤヤ大学のインドネシア語の授業 ◆インドネシアの社会と文化 ◆都市開発問題と対策、自然環境問題と対策 ◆インドネシアの伝統と芸術 ◆インドネシアと日本の関係 ◆インドネシアの食品加工について ◆学校訪問、市内見学 ◆農村部での社会貢献活動 ◆ブラウイジャヤヤヤヤ大学の学生との交流 ◆プロモーション山(オプシオン) ◆広島大学学生による発表 	国際協力研究 中央礼美 准教授 ほか	ブラウイジャヤヤヤヤ大学の のホテルを予定(2人1部 屋)	【ブラウイジャヤヤヤ大学】 ht tp://www.ub.ac.1 d/ ブラウイジャヤヤヤヤ大学 (UB) は、1963年に設立された国立 の総合大学で、約6万人の学生が15の学部、法学、経済学 シネスタ学、農学、薬学、水産漁洋学、数理科学、 文化学など、工学、インドネシアをリードする大学の一 つです。文化学部には日本語学専攻や日本教育学専攻が あり、日本語を勉強している学生が交際しています。広島大学 から協定を結んでいます。	【マラン市】 ブラウイジャヤヤヤヤ大学のキャンパスがあるマラン市は東 ジャワ州第二の都市で、州都のスラバヤから約90km南 に位置しています。オランダ植民地時代にヨーロッパ 人の避暑地として発展し、「東ジャワのパリ」とも呼 ばれています。
第34回 台湾の多面的な社会と 日台関係を探る 国立政治大学 (台湾)	8月21日(日) ～9月5日(月) (15泊16日) 定員: 30人 参加費: 7万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆知的研究 その1「現地大学の講義を受ける」 ◆なぜ台湾で? 「韓国」日本による植民地統治、日台関係の今 ◆日本社会と向き? 連日? 戦後台湾の民主化、日本との異同 ◆知的研究 その2「海外での発展に挑戦する」 ◆グローバルにテーマを設定し、現地を調査し、考察し、発表する ◆知的研究 その3「外国語に挑戦する」 ◆第2外国語習得(英語など)の目安としての中国語研修を実施 ◆直接教授法でゼロから中級まで一気に身につける(未履修の学生でも問題なく可 能) ◆知的研究 その4「現地学生とともに施設研修へ出かける」 ◆台北二大記念館、故宮、中正紀念堂など ◆いすれも現地大学生のアテンドで実施 ◆のほか、 ◆金門島へのミニ研修ツアー など実施 	社会科学研究 科 前田直樹 ほか	MMホテル(台北駅から 徒歩3分)を予定(2人1 部屋)	【国立政治大学】 ht tp://www.ncu.edu.t w/ 国立政治大学 (NCU) は、1927年に創立されており、文 学部、理学部、社会科学部、法学部、商学部、外国語文 学部、コミュニケーション学部、国際関係学部及び教育 学部の9つの学院(学部)、33学系(学科)、14研究セン ターを備え、また幼稚園から博士課程までを擁する国立 大学です。広島大学とは2012年から協定を結んでいます。	【台北市】 国立政治大学のある台北市は台湾最大の都市圏である 台北都市圏の中核都市であり、アジア屈指の大通りの風量 でもあります。台北市には、近代的な大通りの風景が 見られるだけでなく、火山地形として知られている陽 明山国家公園や「故宮博物院」など多数の観光地があ り、モダンと伝統が織り成すコントララストを感じられ る都市です。
第35回 オーストラリアの 多文化社会 フレインダース大学 (オーストラリア)	9月2日(金) ～9月19日(月) (17泊18日) 定員: 30人 参加費: 12万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆フレインダース大学附属言語学校の教員による特別授業 ◆オーストラリアの直面する諸問題、歴史、教育 ◆フレインダース大学の通常授業への参加 ◆フレインダース大学のディスカッション・交流 ◆小中学校訪問 ◆日本文化紹介プレゼンテーション ◆フレインダース市内での研修 ◆オーストラリア博物館、ノース・テラス、ランドル・モールド等 ◆カンガルー島での研修 ◆野生動物保護区、リマーカブルロックス、アドミラルズアーチ等 ◆全期間ホームステイ 	教育学研究科 APOD, CLAUDE SPENBELLER 講師 ほか	ホームステイを予定(1 人1家庭)	【フレインダース大学】 ht tp://www.f linders.edu.au/ 1966年に創立されたフレインダース市街の郊外に位置する公 立大学。革新的で質の高い授業と教授法に定評があ り、宇宙飛行士の毛利蘭氏が博士課程を修了することで も知られています。教育、人文、法学部、医、看護、履 康科学部、理工学部、社会、行動科学部によって構成さ れており、これまで世界100カ国以上から学生が集まり、 留学生約4,500名を擁し約26,000名の学生が学んでいま す(2015年統計による)。広島大学とは2008年から協定を 結んでいます。	【フレインダース市】 フレインダース大学のあるオーストラリア州は、オー ストラリア中央南部に位置し、フレインダース市は人口120 万人強の州都で、オーストラリアでも着目に大きな都市 です。フレインダース市には、アボリジニに関するコラク シヨウが世界一と言われている南オーストラリア博物 館や州会議事堂など重要な文化施設が集まり、ワース テラ、フレインダースヒルズと呼ばれる美しい丘陵地 帯、フレインダース中心部から近い海辺の町グレネブル や、野生動物等が見られる景勝地カンガルー島があり ます。
第36回 アメリカの大学、 社会と文化 ジェームズマディソン大学 (アメリカ)	9月10日(土) ～9月25日(日) (15泊16日) 定員: 30人 参加費: 12万円	<ul style="list-style-type: none"> ◆ジェームズマディソン大学による授業 ◆アメリカ ◆通学路への参加、自由研究発表 ◆コミュニケーション・プロジェクトへの参加 ◆ハリソンバーグ周辺の施設等見学 ◆ジェームズマディソン大学の学生と交流 ◆ワシントンDC 一日グループ研修 ◆全期間JM学生のルームメイトと学生寮に滞在 	外国語教育研 究センター 田北冬子 特任講師 ほか	ジェームズマディソン大 学(現地学生と2人1部 屋でのルームシェア)を 予定	【ジェームズマディソン大学】 ht tp://www.j m. edu. / 1908年創立の公立大学。「Knowledge is liberty(知識 は自由なり)」のモットーのもと教育が行われていま す。現在は、文学部、経営学部、教育学部、健康・行動 科学部、科学技術部、理学部、数学部、芸術学部の7つの学 部と大学院専門職課程によって構成されており、約 20,000名の学生が学んでいます。広島大学とは2006年か ら協定を結んでいます。	【ヴァージニア州】 ジェームズマディソン大学のあるヴァージニア州は、 米國東部に位置し、首都ワシントンDCから8時間の距 離にあります。ヴァージニア州には、歴史ある建物や 博物館、美術館など観光名所が多くあるだけでなく 公園、ジェームズマディソン国立公園を始めとした多数の国立公 園があり、自然が豊かなことでも知られています。

(*注) 参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料、
 ハスポート申請費、日本国内交通費、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかります。